

No.71

2012.7

# しろいし区 社協だより

## ☆☆子育てサロン「わくわくポケット」☆☆

菊の里地区の子育てサロン「わくわくポケット」は、子育て中の親と子どもが、楽しく自由な雰囲気の中で、心をときめかせながら集える場として運営されています。

菊水元町地区センター（菊水元町5条2丁目）会場では、概ね月1回（第4金曜日）に開催されています。

月ごとにテーマを決めているため、常連の方々も



毎回、新鮮な気持ちで参加することができることもあり、既に開設から10年以上経過しています。

6月22日（金）の当該サロンでは、「折り紙の風ぐるまづくり」をテーマに、参加者の親子（合わせて約80名以上）と運営ボランティア（地区福まち、町内会関係者、民生委員児童委員等約20名）の約100名の方々が、お互いに交流を深めました。

福祉のまち推進センター活動紹介 ..... P 2～3

平成24年度事業計画・平成23年度事業報告 ..... P 4

福祉出前講座 ..... P 5

白石区ボランティアの集い ..... P 6

ボランティア入門講座 ..... P 7

福祉除雪サービス ..... P 7

寄付のお礼・賛助会員の募集ほか ..... P 8

もくじ  
CONTENTS

# 福まちがわら版

白石区内の福祉のまち推進センターは8箇所あります。  
地域の見守り安否確認活動を基本活動とするほか、サロン活動や交流会開催など、  
地域の活性化を目指して活動しています。  
今回は、その内の4地区を紹介します。

## ～北白石地区～



東札幌地区  
福まちへ視察



菊の里地区  
福まちへ視察

北白石地区福祉のまち推進センター（運営委員長：森誠二さん）は、平成24年度より事務局体制を一新し、会則の改定や活動部会（研修部・交流部・サロン部）の設置など新体制にてスタートすることとなりました。

自分たちの福まちを作るためには、まず何をしたらいいかと模索している中、他地区の活動者から、活動の進め方を聞き、北白石地区福まちの活動にアレンジしていこうと他地区訪問を行うこととなりました。行き先は、白石区内の“東札幌地区福まち”と“菊の里地区福まち”です。どちらの地区の方も北白石地区の活動者と顔なじみで、肩肘を張らずに互いの地区の実状の話しをすることができました。主に「見守り安否確認活動の取り組み方法」「運営委員会の進め方」「協力員との連携」について伺い、活動を始めた当初の苦労話や地域団体との連携の大切さ、協力員の募集方法など、刺激となったようです。

他地区訪問を行って、北白石地区福まちが「これからどんな福まちを目指していくか？」のヒントを学ぶことが出来ました。区社協としても今回学んだことを北白石流に取り込めるよう、相談しながら進めていきたいと思います。

## ～白石東地区～

平成24年 栄自治会  
福祉推進委員会  
6月8日 開催

閉じこもり防止にもなる、サロン活動も関心があるな。

対象者は、何歳以上がいいかな。これから考えよう。



白石東地区の栄自治会（町内会長：蠣崎啓治さん）では、福祉推進委員会を発足させました。

栄自治会は、一戸建ての多い町内会で、戸建ての町内会加入率は100%です。また、戸建ての方は、長く地域で生活している世帯が多く、最近では独居の高齢者も増えてきています。

そういった地域事情から、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らすために、身近な人々が「気づいて」「受け止めて」「つなぐ」ことを始めよう！という思いがきっかけです。

平成24年4月に「福祉推進委員会の開設の手引き」を作成し、町内会で話し合われたほか、6月には、「見守り活動と個人情報保護」の勉強会を開催しました。

福祉推進委員会設置準備会の様子

## ～白石地区～

### 高齢者等の見守り活動の推進に向けて

～単位町内会福祉推進委員会の設置を目指して～

白石地区福祉のまち推進センター（運営委員長：佐藤昌幸さん）は、平成22、23年度と白石区社会福祉協議会の「地区福祉のまち推進センターモデル活性化支援事業」の指定を受け、単位町内会レベルで見守り活動を推進するため、民生委員や23ある町内会の役員と共に研修会や懇談会を重ね、単位町内会のあるべき姿について学び、議論してきました。

その2年間の成果が実り、24年度の6月末現在で地区内全町内会の約4割にあたる9町内会で福祉推進委員会が発足、あるいは組織はこれからだが見守り活動へ着手、という大きな成果を上げることができました。

「今後は、地区内の研修会で各福祉推進委員会の活動発表を行うことにより、未設置町内会への働きかけを行い、身近な地域での助け合いの輪を広げていきたい。そのため、今年度は、入浴ツアーを止め、福祉推進委員会の研修・会議に係る費用を福まち予算に計上しました。」と佐藤委員長は、力強く話してくれています。

来年3月には、現在建て替え中の白石まちづくりセ

ンター内に地区福祉のまち推進センター事務所がリニューアル・オープンするのに伴い、地域の福祉活動の拠点としてより一層の活躍が期待されます。

区社協としても引き続き、福祉推進委員会立ち上げ方法や運営に関する出前講座への講師派遣や区の研修会や会議等での活動報告などで、地区内のみでなく他地区へも小地域福祉活動が拡充するよう地域住民のみなさんと共に悩み、活動していきます。



本通親和会福祉推進委員会の出前講座の様子  
(講師：区社協佐藤次長)



## ～東白石地区～

東白石地区福祉のまち推進センター（運営委員長：中村昌彦さん）は、平成24年度より「地区福祉のまち推進センターモデル活性化支援事業」の指定を受けることになりました。

これまで、毎月の運営委員定例会で見守り対象者の「75歳以上のお一人暮らしの方」の見守り安否確認のため、地区全体で行う訪問活動や行事に関する意見交換を行っていました。

しかし、住民の高齢化に伴い、見守り対象者は年々増加していることや気になる高齢者が増えてきたことから、単位町内会毎での見守り安否確認活動を目指すこととなりました。

今年は、単位町内会毎に福祉マップを作成し、見守り対象者と福祉推進員を確認していく予定です。

今までは、地区全体で見守り活動を行ってきましたが、より身近な地域で顔なじみの支援者が見守り活動を行うため町内会単位の活動を進めていきます。

また、既に旭町内会（会長：山中忠典さん）では「見守り隊」が発足され、対象者と支援者を募集し、町

内会で対象者を2名見守ることとなりました。活動を始めるにあたり、見守りの方法や緊急時の連絡体制に関する研修会に関係団体を交えて開催したところです。

今後は、地区の地域活動者同士で情報交換会の開催や単位町内会の見守り安否確認活動の推進の話し合い開催など、進めていく予定です。



旭町内会「見守り隊」の研修会

# ◆◆◆◆ 平成24年度 事業計画 ◆◆◆◆

平成23年3月11日に起こった東日本大震災から1年以上が経過しました。被災地は復興に向かっていますが、慢性的に支援が必要な状況ではないでしょうか。そのよう状況ですが、日頃の地域での「絆」の大切さが教訓として人々の心に残りました。また、今年1月に白石区で起こった姉妹の孤立死事件では、人と人との結びつきや地域の繋がりが薄れ、高齢者に限らず孤立死の可能性が大きくなっている現代社会の弱さを浮き彫りにしたと言えます。

本会では、誰もが「安心・安全・福祉のまちづくり」を目指して多くの事業を実施しておりますが、こうした多様化・複雑化する社会の変化に対応するために、今後より積極的な事業展開が求められます。変化し

続ける社会福祉諸制度に住民が取り残されることがないように、情報の発信や地域における有効なネットワーク構築の取り組みを継続して進めるとともに、自立支援を基本として個人の福祉力・地域の福祉力を高めていくことも社会福祉協議会としての重要な役割となります。

小さな声にも耳を傾け、適切な制度・機関に繋がっていくために、行政、札幌市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会（地区福祉のまち推進センター）、民生委員児童委員協議会、町内会、地域包括支援センター・介護予防センター等多くの地域団体・機関と連携・協働し、福祉の立場から安心・安全に暮らせる街づくりの推進に努めてまいります。

## 重点事業

- ・福祉のまち推進事業  
～見守り・訪問活動の強化～
- ・ふれあい・いきいきサロン事業
- ・ボランティア活動事業
- ・福祉除雪サービス事業

### ◆資金収支予算(予算)

(単位:円)

収入の部	今年度予算額①	前年度当初予算額②	差異(①-②)
会費収入	681,000	451,000	230,000
市補助金収入	6,942,000	7,174,000	△232,000
市社協助成金収入	10,557,000	11,028,000	△471,000
参加費収入	15,000	15,000	0
一般募金配分金収入	910,000	910,000	0
負担金収入	2,103,000	2,168,000	△65,000
寄付金収入	800,000	300,000	500,000
雑収入	60,000	50,000	10,000
受取利息配当金収入	175,000	180,000	△5,000
経理区分間繰入金収入	200,000	1,071,000	△871,000
前期末支払資金残高	7,341,000	7,275,000	66,000
合計	29,784,000	30,622,000	△838,000
支出の部	今年度予算額①	前年度当初予算額②	差異(①-②)
法人運営	1,911,000	2,301,000	△390,000
地域福祉推進事業	12,879,000	12,750,000	129,000
福祉のまち推進事業	7,210,000	8,507,000	△1,297,000
基金運営事業	7,734,000	7,014,000	720,000
予備費	50,000	50,000	0
合計	29,784,000	30,622,000	△838,000

# ◆◆◆◆ 平成23年度事業・決算報告 ◆◆◆◆

去る、平成24年5月22日に本会理事会・評議員会を開催し、平成23年度の事業報告及び決算報告を行い、提案内容は了承されました。

### ◆ 事業報告

- ① 地域福祉活動の推進
- ② ボランティア活動の推進
- ③ 高齢者、障がい児・者福祉活動の推進
- ④ 児童・青少年の福祉活動の推進
- ⑤ 低所得者等福祉活動の推進
- ⑥ 広報・PR活動の推進
- ⑦ 社会福祉施設・団体活動の推進
- ⑧ 共同募金、歳末たすけあい運動の推進
- ⑨ 会務の運営

### ◆資金収支報告(決算報告)

(単位:円)

収入の部	予算額①	決算額②	差異(①-②)
会費収入	451,000	692,000	△241,000
市補助金収入	7,174,000	7,242,296	△68,296
市社協助成金収入	11,028,000	10,687,110	340,890
参加費収入	15,000	15,500	△500
一般募金配分金収入	910,000	910,000	0
負担金収入	2,168,000	1,974,350	193,650
寄付金収入	300,000	845,666	△545,666
雑収入	50,000	70,480	△20,480
受取利息配当金収入	180,000	173,608	6,392
経理区分内繰入金収入	1,071,000	1,206,000	△135,000
前期末支払資金残高	7,275,000	7,242,453	32,547
合計	30,622,000	31,059,463	△437,463
支出の部	予算額①	決算額②	差異(①-②)
法人運営	2,351,000	1,929,693	421,307
在宅福祉活動推進事業	20,347,000	20,049,768	297,232
共同募金事業	910,000	910,000	0
基金運営事業	560,000	799,895	△239,895
合計	24,168,000	23,689,356	478,644
当期末支払資金残高(収入決算額-支出決算額)	7,370,107		
内訳	一般会計	607,365	
	愛情銀行	6,762,742	